



第59回全日本学生自転車競技トラック新人戦 東日本大会

2024年10月13日(日) 境川自転車競技場(屋外400m)

主催：日本学生自転車競技連盟

共催：公益財団法人 日本自転車競技連盟

運営協力：山梨県自転車競技連盟

協賛：公益財団法人 JKA

公益社団法人 全国競輪施行者協議会

一般社団法人 日本競輪選手会

井上ゴム工業株式会社

WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

株式会社パールイズミ

株式会社 JPF

WINSACE JAPAN 株式会社

Communiqué No.3

2024年10月2日

チーフコミッセール 古賀 岳文

競技上の注意

(1) 基本原則

- すべての参加者(選手、スタッフ、役員、その他)は安全を第一に競技会に参加すること
- すべての参加者は競技規則を再確認し、それを遵守すること

(2) 競技役員

- コミッセール・パネル 古賀岳文(PCP)、森川和之、古川利勝、岩間光輝
- セーフティー・マネージャー 傳野龍太郎
- その他アシスタントコミッセール

(3) 競技規則

- 本大会は2024年度版(公財)日本自転車競技連盟競技規則および大会特別規則による。

200mFTT 2周

スプリント 2周

ケイリン 4周(スタートは中央線・ペーサー離脱2周回目中央線)

ポイントレース 5周に1回のポイント

ニュートラリゼーション 3周

(4) 機材

- 当連盟 HP に掲載の「日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程」を遵守すること(例「ナットの緩みやチューブラータイヤのリムセメント固定不十分など、整備不良が事故(落車や不正スタート等)の原因であることが明らかな場合、安全上の観点からコミッセールの判断により再発走を認めないことがあります」など 詳細は本規定を確認すること)

(5) バイクチェック

- 参加選手は出走の15分前までにバイクチェックを受けること
- チームスタッフは出走順と競技の進行状況を確認し、選手が時間通りにバイクチェックを受けるように注意すること
- 主催者は参加者のバイクが競技規則に適合しているかどうかを確認する
- 自転車の整備について主催者はいかなる責任も負わない
- 自転車の整備不良等により、安全を損ねる危険性がある場合は、出走を認めないことがある

(6) セーフティーゾーン

- セーフティーゾーンとは、ブルーバンドの内側のエリアのことである
- 競走中は、セーフティーゾーンの中には競技規則で認められている場合(パーシュート種目と、バンチレースで事故が発生した後にコミッセールに認められた場合)を除き、チームスタッフが立ち入ることはできない
- スタート前のホルダーも含め、セーフティーゾーンに進入する際は周りをよく注意すること



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。

<https://www.jka-cycle.jp/>

レースの結果はホームページでも公開しています。

<https://jicf.info/>





第 59 回全日本学生自転車競技トラック新人戦 東日本大会

2024 年 10 月 13 日 (日) 境川自転車競技場 (屋外 400m)

主催：日本学生自転車競技連盟
協賛：公益財団法人 JKA
井上ゴム工業株式会社
株式会社 JPF

共催：公益財団法人 日本自転車競技連盟
公益社団法人全国競輪施行者協議会
WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)
WINSPLACE JAPAN 株式会社

運営協力：山梨県自転車競技連盟
一般社団法人日本競輪選手会
株式会社パールイズミ

・競走中であっても一部の競技役員はセーフティーゾーン内で執務を行っていることがある。選手はよく前を見て走行し、衝突することのないように充分注意すること

(7) タイム系種目

- ・発走機を使用し、電子計時を予定している
- ・片側発送で行う
- ・競技時程が円滑に進行するよう、次の走者は、スタート地点付近にて待機すること
- ・出走順になったら、速やかにペダル位置を合わせて発走機に自転車をセットすること
- ・競技終了後は速やかに走路から退出すること、ウォームアップ、ダウンは芝生内側の走路を使用すること
- ・4kmおよび3kmインディビジュアルパーシュートはタイム・レースによる決勝のみとする。

【競技規則より抜粋】

P.181 (スタンディング・スタート競技における再スタート)

22. スタンディング・スタート競技の各ラウンドにおいて、チームまたは競技者は 2 回のみスタートが認められる。1 回の再スタートが、不正スタートの結果としてまたは認められる事故時に認められる。

⇒ **フライングおよび認められる事故時のみ再スタートが認められる。**

P.180 (認められる事故)

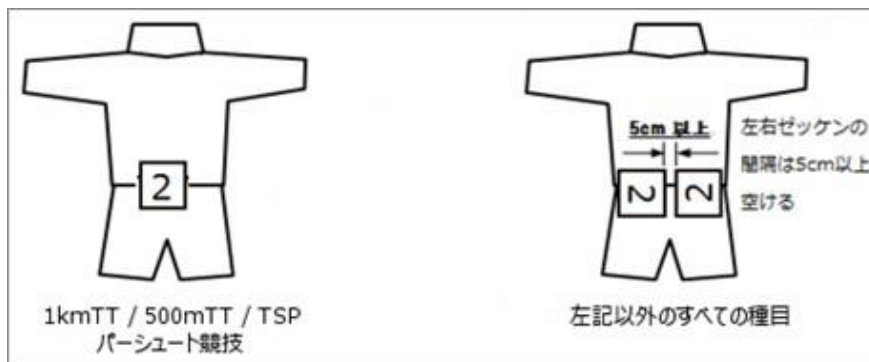
18. 下記は認められる事故と判定される。(1) 正当な落車 (2) パンク (3) 自転車の重要部分の破損 その他すべての事故は認められない事故とみなされる。

⇒ **ペダルクリートからの脱落、車輪の緩み、ハンドルポジションのズレ等は再スタートは認められない。**

(8) バンチレース

- ・各種目専用ゼッケンを使用する。選手は、番号間違いがないように確認のうえ、審判が視認できるように安全ピンでしっかり取り付けること。また、フレームプレートを配付するので、身体で隠れないようにフレーム中央に取り付けること。(トランスポンダーは使用しないので、選手判別にはゼッケンおよびフレームプレートの番号を審判が容易に読取れることが非常に重要である。十分に留意すること。)
- ・ホルダーは各チームで用意のこと
- ・事故等に備えたチーム員は、必要な機材をあらかじめセーフティーゾーンの内側芝生内で準備・待機すること
- ・事故の際にインフィールドに入る際は、コミッセルの許可を受け、その指示に従うこと
- ・スプリントおよびケイリンの勝ち上がりは時程表に記載のとおりである

「参考：ゼッケンの付け方」



以上



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。
<https://www.jka-cycle.jp/>

レースの結果はホームページでも公開しています。

<https://jjcf.info/>

